

公益財団法人 三重県国際交流財団

令和元年度 年報

Mie International Exchange Foundation Annual Report

2019



公益財団法人 三重県国際交流財団 (MIEF)

Mie International Exchange Foundation



MIEF (みえふ) ってなにをしているところ？

MIEF は外国人も日本人も暮らしやすい社会となるように、日本語教育、医療通訳、災害時の外国人支援などいろいろな事業をしているよ。



仕事のこと、子どものこと、学校のこと、困ったときはどこへ相談したらいい？

みえ外国人相談サポートセンター MieCo (みえこ) に相談してね。

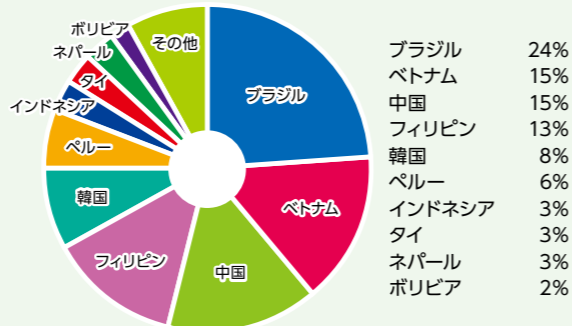


三重県の在住外国人の状況

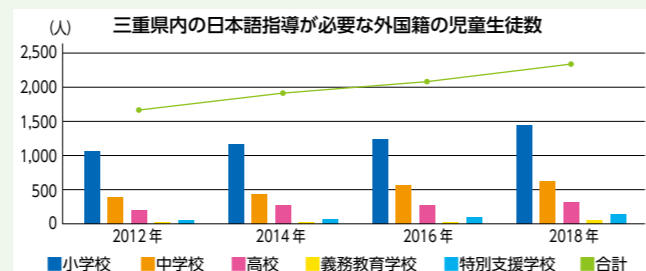
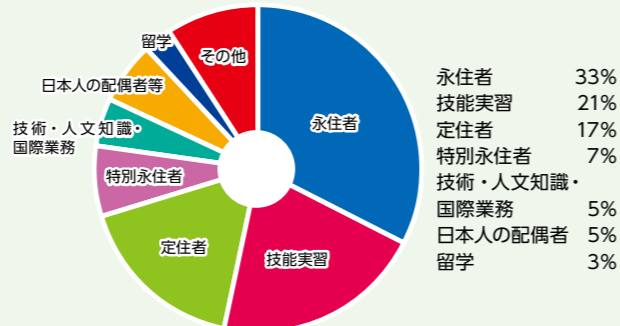
三重県で暮らす外国人は 55,208 人 (2019 年 12 月末現在)、過去最高を更新しました。ベトナムやネパールなどアジアからの技能実習生が増えています。また、全体の約 25% を占めるのはブラジル国籍の方です。みんなが地域を支えています。

多様な文化を持つ人々が互いを理解し、尊重することで、より豊かな社会となることを願い、MIEF は事業をしています。

国籍・地域別外国人住民割合 (出典：三重県)



在留資格別外国割合 (出典：三重県)

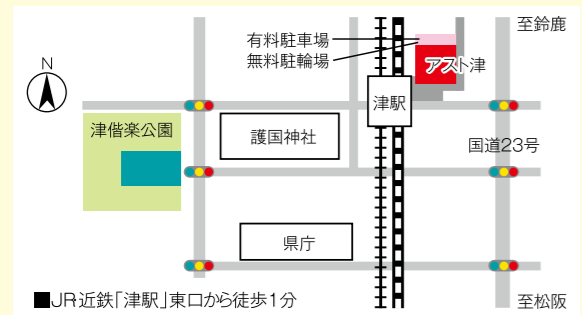


外国につながる子どもの状況

三重県内の小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、特別支援学校に在籍する日本語の指導が必要な児童生徒数は 2,653 人 (2018 年 5 月現在)。外国籍が 2,300 人、日本国籍が 353 人です。日本生まれ、日本育ちでも、外国につながる子どもたちにとって、教科学習での日本語の壁は高いです。MIEF では、外国につながる子どもたちが未来を切り拓く力を育むことができるよう、成長の支援をしています。

三重県国際交流財団 沿革

- 1991 年 (平成 3 年) 地域の国際化を推進する中核的組織として設立。
- 2004 年 (平成 16 年) 外国人児童生徒の教育推進を図る財団法人三重県国際教育協会と統合。
- 2012 年 (平成 24 年) 公益財団法人へ移行。



JICA 三重県デスク

JICA 三重県デスクは「あなたに一番近い JICA」です。自治体、NGO、教育機関、民間企業そして個人の方々と連携し、国際協力への理解・参加を推進しています。

海外協力隊、中小企業・SDGs ビジネス支援事業、国際理解教育支援、さらに学校や団体向けの国際協力出前講座の依頼等は、下記へお気軽にお問合わせください。

TEL 059-223-8003 FAX 059-223-5007
Email jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp

みえ外国人相談サポートセンター運営事業 ※

2019 年 8 月から、三重県の委託を受けてみえ外国人相談サポートセンター「MieCo (みえこ)」を MIEF の事務所に設置しています。

在留手続、仕事、医療、福祉、出産・子育て、教育など、日常生活についての相談に、電話通訳などで対応します。内容によっては、専門機関につないで解決できるようにします。

相談日

月曜日から金曜日 (土日、祝日、12 月 29 日～1 月 3 日は休み)

相談時間

9 : 00 ~ 17 : 00

相談専用電話番号

080-3300-8077

場所

(公財) 三重県国際交流財団 (MIEF) 事務所内 (津市羽所町 700 番地アスト津 3 階)
JR/ 近鉄津駅東口から徒歩 1 分。車の場合は、駐車料金がが必要です。

相談できる言語

英語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、日本語

相談料

無料

相談できる内容

在留手続、仕事、医療、福祉、出産・子育て、教育についてなど

専門相談会

2019 年度に実施した、名古屋出入国在留管理局、行政書士による専門相談会に加え、2020 年度は、弁護士、社会保険労務士、社会福祉士による専門相談会を実施しています。

みえ外国人相談サポートセンター 月曜日～金曜日 9:00～17:00
Mon.～Fri. 9:00～17:00

MieCo TEL 080-3300-8077

Mie Consultation Center for Foreign Residents

日本語 にほんご がいこくじんのためのそうだん
①080-3300-8077に電話してください。②「OO語」と言ってください。

英語 English Consultation for Foreign Residents
① Please contact us at this number 080-3300-8077. ② And just say "Eigo" please.

ポルトガル語 Português Consulta para residentes estrangeiros
① Ligue para 080-3300-8077. ② E diga "Portogaru-go"

スペイン語 Español Recepción de Consultas para residentes extranjeros
① Comuníquese al 080-3300-8077. ② Diga por favor, "supeningo".

フィリピン語 Filipino Konsultasyon para sa mga dayuhan
① Tumawag sa Telepono No.080-3300-8077. ② Sabihin ang salitang [Filipino-go]

中国語 中文 为外国人提供咨询
① 致电080-3300-8077 ② 请说【求高哭高/CHU GO KU GO】

韓国語 한국어 외국인을 위한 상담
①080-3300-8077에 전화해 주십시오. ②「칸코쿠고」라고 말씀해 주십시오.

ベトナム語 Tiếng Việt Nam Tư vấn dành cho người nước ngoài
①Hãy gọi số 080-3300-8077 ②Hãy nói "Betonamu go"

ネパール語 नेपाली भाषा बिदेशी नागरिकहरूको लागि परामर्श
①080-3300-8077 मा टेलिफोन सम्पर्क गर्नुहोस् ②नेपाल गौ भन्नुहोस्

インドネシア語 Bahasa Indonesia Konsultasi bagi warga negara asing
①Hubungi telepon 080-3300-8077 ②Ucapkan "Indonesia-go"

タイ語 ภาษาไทย ให้คำปรึกษาสำหรับชาวต่างชาติ
①กรุณาติดต่อหมายเลข 080-3300-8077 ②แจ้งว่า "ไทโก"

公益財団法人 三重県国際交流財団 (MIEF)
Mie International Exchange Foundation
津市羽所町700番地 アスト津3F
Mie-ken Tsu-shi Hadokoro-cho 700
UST-TSU 3F
URL: <http://www.mief.or.jp>



病院で言葉が通じないのって不安だなあ。

三重県では、医療通訳者のいる医療機関がふえているよ。言葉が通じると安心だね。



医療通訳育成事業 ※

三重県で暮らす外国人は東南アジアからの技能実習生が増え、国籍も多様化していますが、仕事上のケガや高齢化に伴う健康問題等により医療機関にかかる機会も増えています。

日本語を十分に話すことができない外国人患者は、医療従事者との意思疎通に困難を抱えています。一方、医療機関側も意思疎通の問題で診療内容や治療方針に誤解が生じるなど外国人患者への対応に苦慮しています。外国人患者の診療をスムーズに行うため、多言語対応など受入れ態勢の整備が課題です。

MIEF は、これらの課題に対応するため、「医療通訳者」の育成に 2003 年度から取り組んでいます。2019 年度は、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、インドネシア語、ネパール語の 6 言語で「医療通訳を仕事に」をテーマに、医療機関で求められる資質（知識、倫理等の講義）、ロールプレイ、医療通訳現場の現地見学を通して、即戦力となる通訳技術を備えた人材の育成に取り組みました。



医療通訳配置促進事業 ※

医療通訳育成研修を受講した通訳者の活用と医療機関における医療通訳サービスの提供を進めることを目的として、2019 年度は、県内の 3 医療機関に、試行的に医療通訳者を常駐させました。

試行期間中に実施したアンケート調査では、医療機関における医療通訳者に対する評価は高く、医療通訳者の必要性、利便性が認められ、3 医療機関とも試行配置後に医療通訳者が直接雇用されました。

鈴鹿回生病院および
鈴鹿回生病院附属クリニックにて



三重北医療センター
いなべ総合病院にて

【医療通訳を配置している医療機関等】

市立四日市病院、三重県立総合医療センターなど。
詳しくはこちら

<http://www.mief.or.jp/jp/iryohaichi.html>



台風や地震のとき、どうすればいいのかな？

日頃からの訓練や準備が大切だね。MIEF では、外国人住民対象の訓練や、大規模災害時に外国人住民に多言語で情報を届けたり、相談に対応するための訓練をしているよ。



三重県災害時外国人住民支援事業 ※

大規模災害時の外国人住民への支援活動を想定して、英語、スペイン語、中国語、ベトナム語、フィリピン語、ポルトガル語、やさしい日本語の災害時語学サポーター養成研修を実施しました。外国人への相談対応や通訳技術を学ぶ講義、避難所ルールの翻訳など実践的な内容としました。

また、三重県と MIEF が実施した「みえ災害時多言語支援センター」設置・運営訓練と並行して、センター運営関係者と協働で、災害情報の選別・翻訳・発信する訓練を実施しました。

参加者アンケートより

「運営のシミュレーションができ、どのくらい準備が必要か気づいた」
「やさしい日本語に変換したり、翻訳するのに思った以上に時間がかかり、訓練が必要だと感じた」



伊勢市避難所運営訓練事業

伊勢市では、ベトナム、ミャンマーなど 5 か国 109 人の外国人住民を対象に、災害時に役立つ日本語の勉強や、浸水した車からの脱出などの体験学習をしました。

また、避難所での外国人避難者への対応方法を学ぶ研修会も開催しました。「伊勢市版避難所情報伝達キット（つたわるキット）」や翻訳アプリを使って、日本人参加者が外国人とのコミュニケーションを体験しました。

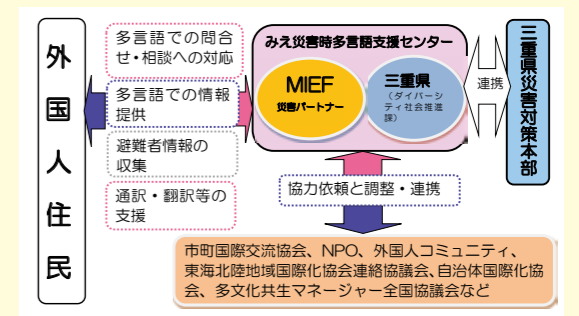
参加者アンケートより

「日本で起こる災害について知ることができた」
「どんな準備が必要かわかった」



みえ災害時多言語支援センター

大規模災害が発生した際に外国人住民等を円滑に支援するため、2013 年 5 月「みえ災害時多言語支援センター」の設置・運営に関する協定を三重県と締結しました。年に 1 回 NPO 団体、市町国際交流協会、ボランティア等と同センターの設置・運営訓練を行っています。





外国につながる子どもたちが日本で生活するとき、何が大切かな？

子どもたちが未来を切り拓くための力をつけることが大切。MIEFは、日本語や母語の習得のサポートを通じて、子どもたちの成長を支援しているよ。



外国につながる子どもたちの教育実践研究会

外国につながる子どもたちにとって、日本語習得はとても大切です。小中高の教員、教育委員会のスタッフ、地域の日本語ボランティアなど70人が集まり、やさしい日本語や日本語教材の使い方、教科学習と組み合わせた指導方法などについて学びました。

講師からのワンポイント講座
「やさしい日本語」とは
“優しい・易しい”両方の意味+“寛容な心”

多言語による読み聞かせ教室

日本語と母語の両方を豊かに育てるために、多言語での読み聞かせをしました。絵本を読むだけでなく、歌を歌ったり、踊ったり、折り紙をしたりして、楽しく言葉に親しむ活動をしました。

母語はアイデンティティの形成と、家族とのコミュニケーションのためにとっても大切！



外国につながる子どもたちの支援事業（プレスクール）※

外国につながる子どもたちが、安心して小学校生活を始めるには、就学前支援教室（プレスクール）で日本の学校文化や勉強について知り、準備することが大切です。県内のどの市町でもプレスクールが開設されるよう「三重県プレスクールマニュアル」を作成しました。ぜひ活用してください。



http://www.mief.or.jp/kyozai_resource.html

プレスクール3つのよいこと



みえこさんのほんごシリーズ

外国につながる子どもたちが、学校生活を送るために必要な日本語を学べるように、初期日本語学習教材「みえこさんのほんご」シリーズを発行しています。教師用指導書やCD、絵カードなどもあります。



http://www.mief.or.jp/mief_kyozai.html



2019年度MIEF実施事業一覧



多文化共生社会を共に創る仲間づくり

外国人住民へ日本語を教えるボランティア、医療機関等で活動する通訳者、災害時に外国人を支援するサポーター等、多文化共生社会づくりを共に担う仲間づくりをしました。

- 日本語ボランティアを対象とした研修
- 医療通訳者の育成と試行的配置 ※
- 医療機関、保健センターへの医療通訳者配置
- 災害時語学サポーターの養成 ※
- 災害時の外国人支援のための図上訓練 ※
- 通訳翻訳、医療、災害サポーター制度の運営



外国につながる子どもたちのサポート

外国につながる子どもたちが未来を切り拓く力を育むことができるよう、成長の支援をしました。

- プレスクール運営のためのマニュアル・教材作成、指導者の育成 ※
- 高校進学ガイドブック多言語版作成
- 日本語教材、日本語指導教材の研究・開発・発行
- 外国につながる児童生徒への初期日本語指導についての研究会
- 多言語による読み聞かせ教室
- 外国語図書の貸出



多文化共生の地域づくり

外国人も日本人も、安心安全に生活することができるよう、多文化・多様性を尊重する地域づくりを進めました。

- 外国人住民対象の契約トラブル防止研修会 ※
- 外国人住民対象の防災訓練、外国人避難者を受入れる避難所運営訓練
- MieCo（みえ外国人相談サポートセンター）による11言語相談対応 ※
- 労働相談、結核についての電話通訳 ※
- 県内市町国際交流協会の連絡会



国際交流・国際協力の推進

県内外の機関と連携して、国際交流や国際協力活動の推進を支援しました。

- 県内と韓国の高校生の交流事業
- 国際交流団体調査
- パラオ共和国青少年の育成支援
- ブラジル、アルゼンチン三重県人会の活動支援
- 私費海外、外国人留学生への奨学金給付事業 ※
- ブラジル研修員に対する剣道研修

賛助会員の募集・寄付のお願い

事業内容のいっそうの充実のため、賛助会員を募集しています。
MIEFの活動理念にご賛同をいただき、ご支援をお願いいたします。
寄付金・賛助会費は税額控除の適用対象です。
詳しくは事務局までお問合せください。

賛助会員・寄附金の募集

<http://www.mief.or.jp/jp/sanjo.html>



◆ 賛助会員特典

- 日本語教材『みえこさんのにほんご』シリーズ等の価格を割引きます
- 世界の国旗を無料で貸出します



◆ 賛助会費

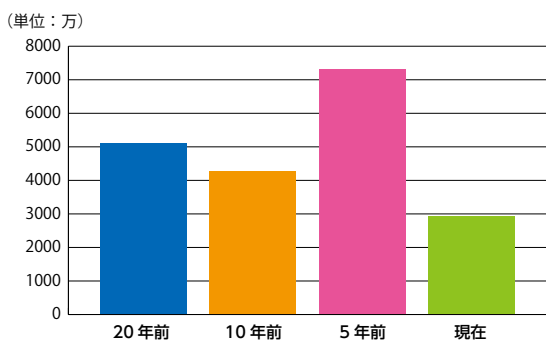
- 団体会員 1口 ¥12,000
- 個人会員 1口 ¥3,000
- パートナー会員* 1口 ¥1,000

*財団パートナー制度にご登録いただいている方が対象

◆ 入金方法

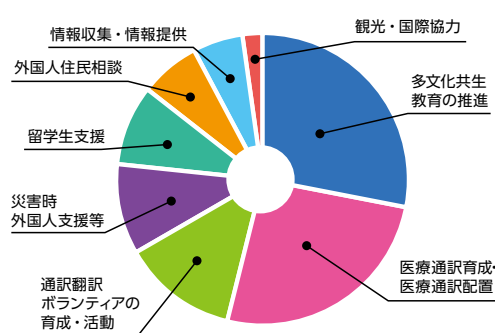
- ゆうちょ銀行 ○九八店
当座 0018074 公益財団法人三重県国際交流財団
- 百五銀行 津駅前支店
普通 292889 公益財団法人三重県国際交流財団賛助会費口

■ 事業収益の推移



事業予算の減少や低金利による基金運用益の減少等により、財政状況は年々厳しくなっています。新規事業の企画・立案、市町等からの事業受託、助成金の活用等、多角的な財源確保に努めています。

■ 事業別支出内訳



賛助会費・寄付金は、多文化共生社会の推進・国際交流の促進・国際協力の拡充のための事業に、大切に使用させていただきます。



公益財団法人 三重県国際交流財団 (MIEF)

〒514-0009 三重県津市羽所町700 アスト津3階

TEL 059-223-5006 FAX 059-223-5007 E-Mail mief@mief.or.jp URL <http://www.mief.or.jp>

facebook 公益財団法人三重県国際交流財団 (MIEF) Twitter @MIEFsince1991

